

令和7年度 学校評価計画（教育指導の重点）

小田原市立（国府津小）学校

項目	共通項目 (教育指導の重点より)	学校における取組	
		学校の実践目標	具体的方策
「学ぶ力」	日々の学習指導や学習評価において、子ども一人ひとりを適切に見取り、伸ばす評価（点から線の評価）を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりと豊かな学び合いによる思考活動の充実により、主体的に学びに向かう力と課題解決力を育む。 ・基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相互の学び合いの中から、児童の変容を多面的に見取り、深い学びへとつながるような実践を行うとともに、校内研究を通して、その検証を図る。 ・個別指導、個別支援の場を取り入れ、個の実態・児童のニーズに応じた指導・支援を行う。
「豊かな心」	教育活動全体を通じて、生命の尊さや人権を尊重する態度の育成を目指した、人権教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の良さを認め、他人の気持ちを考えて思いやりをもって接することができる心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相互のやり取りの中でトラブルにつながるような言動があった場合、生命尊重や人権尊重を意識した児童指導ができるように、教職員全体で共通理解を行う。 ・インクルーシブ朝会や人権朝会を実施するとともに道徳教育と関連付けながら、全校の共通理解のもと、人権意識の啓発を図る。 ・たてわり班を活用し、異学年交流を通して思いやりの心を育む。
「健やかな体」	防災・防犯・交通安全・熱中症防止など、常に子どもの命と安全を最優先に考えるとともに、子ども自身がどうしたらよいか考える力をつけていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の命は自分で守る」を意識できるような指導を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションでの防災訓練や防犯教室、交通安全教室を実施し、自分の頭で考え、行動できるような児童を育てる。 ・防災研修、防犯研修、アレルギー対応研修の充実を図り、教職員の安全意識を高める。
「関わる力」	小田原の豊かな自然や産業、伝統文化に関心を持ち、社会に主体的に参画しようとする態度の育成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に学び、地域に貢献しようとする児童を育てる。 ・地域学習の充実を図り、地域人材の活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科・生活科・総合的な学習の時間における地域学習の充実を図るため、地域素材の教材化を意識するとともに、地域素材・人材に係るデータベースの充実を図る。 ・スクールボランティアの活用を図るとともに、児童と地域の方との関わりの場を充実させる。
その他	※必要に応じて追記してください。		

令和7年度 学校評価報告（教育指導の重点）

小田原市立（国府津小）学校

項目	共通項目 (教育指導の重点より)	評 価	改 善 策
「学ぶ力」	日々の学習指導や学習評価において、子ども一人ひとりを適切に見取り、伸ばす評価（点から線の評価）を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の発言やノート・ワークシートへの記録、表情などの「児童の姿」をもとにしつつ、その子の学びの過程を加味した見取りを校内研究の中で位置付けてきた。協議の中で見取ったことを出し合うことで、見取り方に奥行きができています。 ・ 校長・教頭・教務が個別指導を行うことで、大集団の中では理解しにくいと感じていた児童に対して、きめ細かな指導をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一時的な表れに注目するのではなく、これまでの学びを踏まえながらどのように変容してきたのか、どのような成長が見られるのかを教員が相互に意見交流することで、見取り方を高められるような校内研究を行う。 ・ 引き続き、限られた人的配置の中で、個別指導、個別支援に対応できるようなシステムの改善を図る。
「豊かな心」	教育活動全体を通じて、生命の尊さや人権を尊重する態度の育成を目指した、人権教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「Y-P アセスメント」をもとにした指導プログラムを今年度2回実践したり、学校保健委員会や人権朝会で取り上げた「温かい言葉遣い」「ふわふわ言葉」について各学級で指導したりしたことで、自他の良さを認め合える学級が作り上げられていた。 ・ 「自分たちの力でより良い学校をつくり上げる」という意識のもと、児童会活動や学校行事に取り組むことで、自分の思いだけでなく、仲間の思いや気持ちにも配慮した活動を数多く行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童会活動に限らず、学校行事や生活指導上の「学校のきまり」等、学校生活における様々な場において、できるだけ児童自身が自分たちで考え、つくり上げていく過程を大事にし、その中で、互いの思いや気持ちを配慮できるような指導を継続していく。 ・ 次年度も、今年度同様インクルーシブ朝会や人権朝会を実施し、朝会後も自分たちの意識を振り返る場を大事にしていく。 ・ たてわり班の活動のさらなる充実を図る。
「健やかな体」	防災・防犯・交通安全・熱中症防止など、常に子どもの命と安全を最優先に考えるとともに、子ども自身がどうしたらよいか考える力をつけていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々なシチュエーションでの防災訓練や交通安全教室を実施することができた。予告なしの避難訓練では、運動場で慌てて走っていた1年生に対し、あるべき行動を教えている高学年の姿も見られた。 ・ 防災研修、防犯研修、アレルギー対応研修を実施することで、教職員の安全意識を高めることができた。 ・ 児童も WBGT の値から休み時間等の対応を考慮することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、様々なシチュエーションでの防災訓練や防犯訓練、交通安全教室を実施し、自分の頭で考え、行動できるような児童を育てる。 ・ 防災研修、防犯研修、アレルギー対応研修等も継続し、教職員の安全意識を高める。
「関わる力」	小田原の豊かな自然や産業、伝統文化に関心を持ち、社会に主体的に参画しようとする態度の育成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会科・生活科・総合的な学習の時間において、地域素材を扱い、地域に出向き、地域の方と交流する活動が増えている。 ・ 1年生の昔遊び、2年生の町探検、3年生の小田原市の特徴、4年生のお雛子、5年生の米作り、6年生の市議会見学などをはじめ、児童と地域の方の関わり場が多く設定された。5・6年生の地域防災訓練、6年生のフラワーロード事業・国府津地区や国府津海岸の清掃では地域に貢献する姿も見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域素材の教材化について、担任が変わっても実践できるように、大まかな単元の流れも明示できるようにするとともに、地域素材・人材に係るデータベースの充実を図る。 ・ スクールボランティア、特に学習ボランティア活用の可能性を探る。
その他	※必要に応じて追記してください。		